

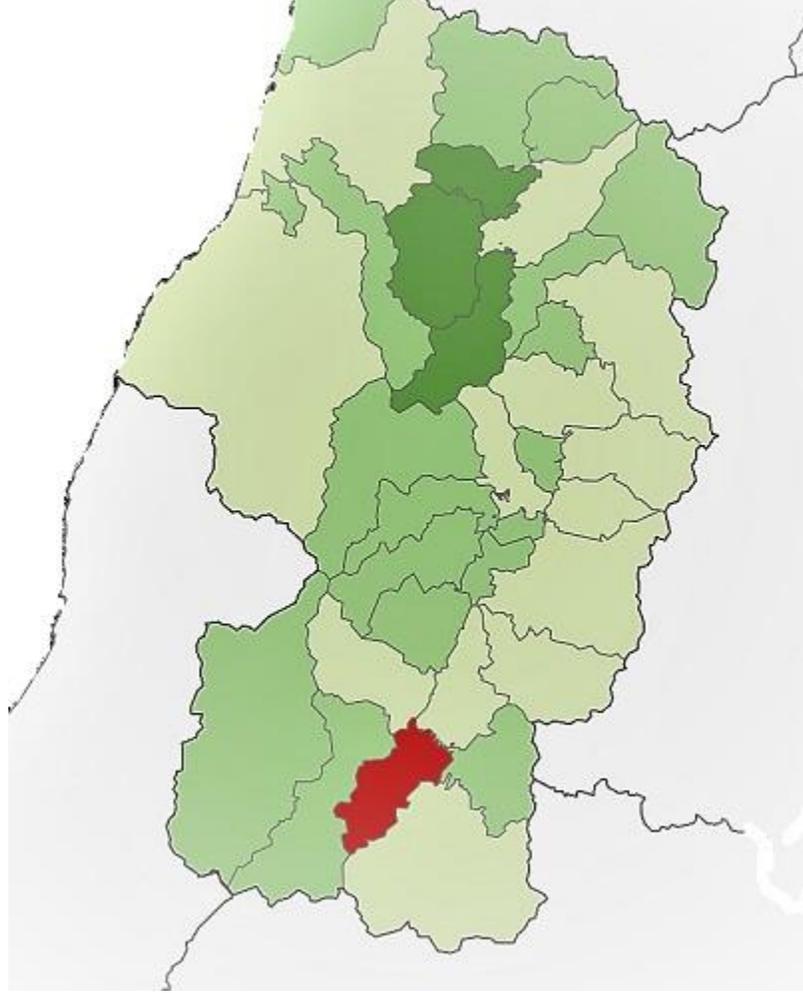


# 学校課題を解決し、 教育の質の向上を図るための 学校評価

山形県東置賜郡  
川西町小学校長会

# 山形県 川西町

緑と愛と丘のある町



平成20～26年度より  
地域学校協働本部事業

町内6小学校

⑦	⑧	⑫
⑦	⑧	③



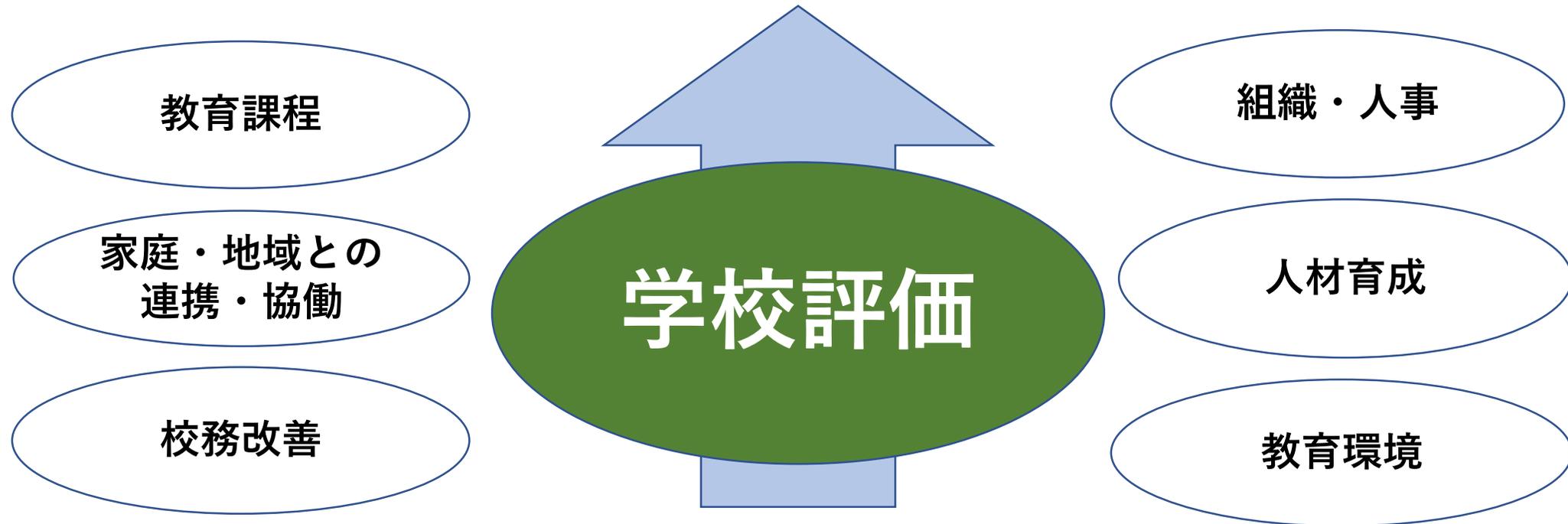
川西中学校

平成25～27年度より  
コミュニティ・スクール

地域学校協働活動推進員  
(コーディネーター)

## 《研究の概要》

# 学校課題の解決、教育の質の向上



## 学校経営マネジメント

《研究のねらい》

## 学校経営に直結した適切な学校評価

- ◇実施や分析の方法をどうするか
- ◇結果を生かす方法をどうするか

## 《研究の経過》

R 2 年度

各校の課題の洗い出し、共有

R 3 年度

評価の改善・実施、改善の視点の整理

R 4 年度

視点に沿った実践、まとめ

## 《研究の内容》（実践の視点）

- （１） 学校経営に生かす学校評価
- （２） 学校評価のＩＣＴ化の推進
- （３） コミュニティ・スクールを  
機能させる学校評価

《視点①による実践》

## 学校経営に生かす学校評価

- ◇教育目標、子ども像、指導の重点等に対して
- どのように共通理解していくか
  - どのように評価していくか
  - 評価項目との整合性はどうか

# 犬川小学校の実践



# ★学校経営の重点と評価項目が合致していない

## R 2 「今年度の重点」 (1) 確かな学力の向上

- ① 授業改善を積み重ね、わかる授業づくりに努める。
- ② 児童一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導の充実を図る。
- ③ 授業の改善や読書活動の推進を通して、思考力・判断力・表現力を育てる。
- ④ 家庭と連携し、望ましい学習習慣の形成を図る。



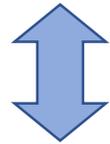
## R 2 「学校評価」の学習に関する評価項目 (保護者アンケート)

- ア お子さんは、授業の内容がよくわかると言っていますか。
- イ お子さんは、家庭で勉強 (宿題含む) する習慣がついていますか。

# ◇学校経営の重点と評価項目を可能な限り合致させる

## R 3 「今年度の重点」 (1) 確かな学力の向上

- ① 授業改善を積み重ね、わかる授業づくりに努める。
- ② 児童一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導の充実を図る。
- ③ 家庭と連携し、望ましい学習習慣の形成を図る。



## R 3 「学校評価」の学習に関する評価項目 (保護者アンケート)

- ア お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。
- イ お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。
- ウ 学校は、一人一人の学習状況に合わせた指導に努めている。

# ◇職員・児童・保護者が、同じ内容（学校経営の重点）について評価する

## R 3 「学校経営の重点」 (1) 確かな学力の向上

- ① 授業改善を積み重ね、わかる授業づくりに努める。

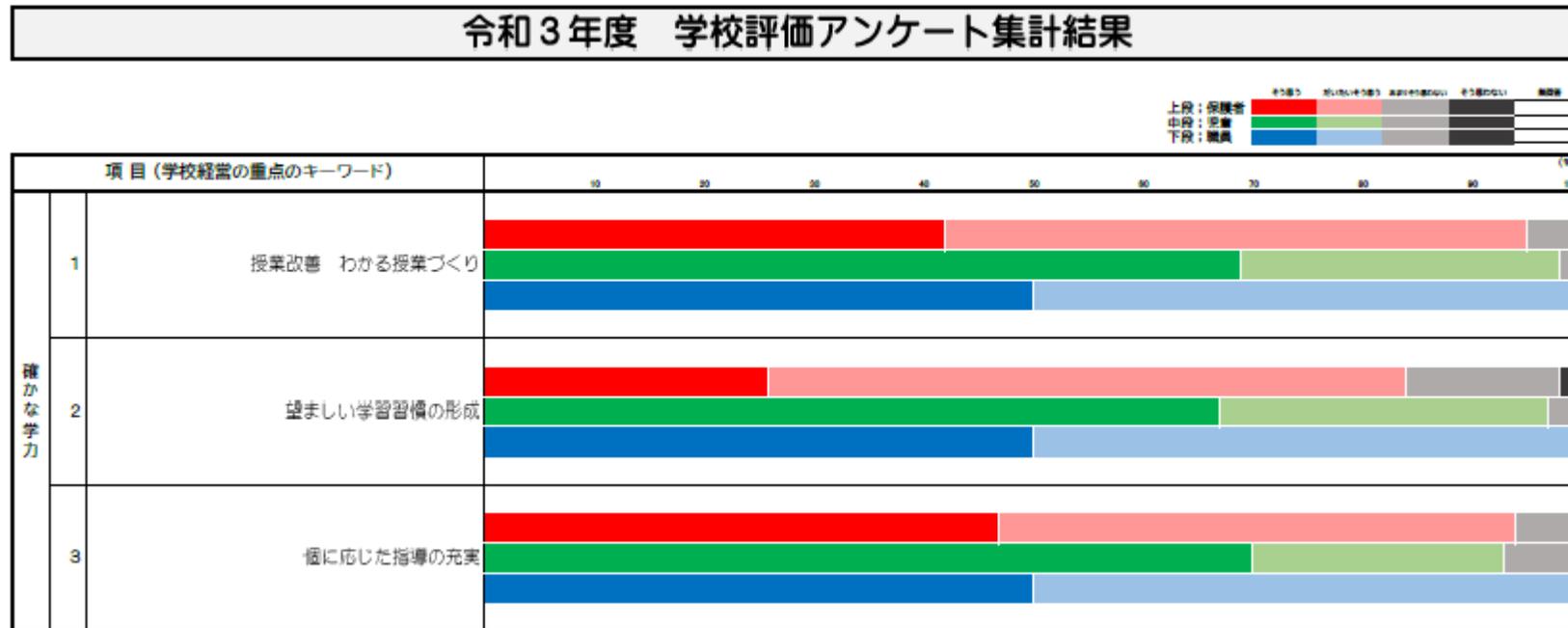


## R 3 「学校評価」の評価項目 (保護者アンケート)

- 【職員アンケート】 ① わかる授業づくりに努めている。
- 【児童アンケート】 ① 学校の勉強は、よくわかる。
- 【保護者アンケート】 ① お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。

# ◇ 3者の評価結果をわかりやすく公表し、課題を共有する

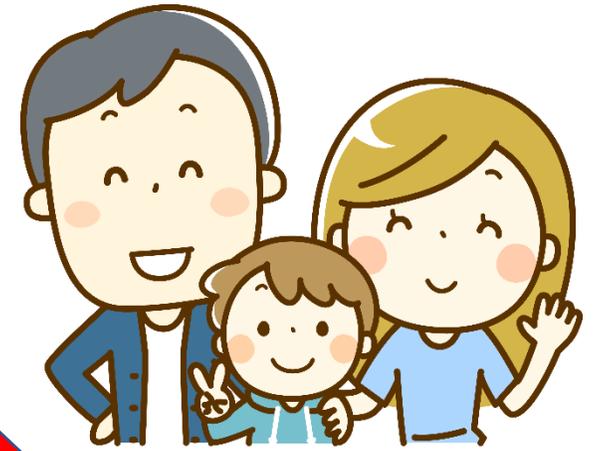
- 3者の評価結果の比較を評価項目ごとにグラフ化





児童

保護者



(児童アンケート)

重点 (例)

(保護者アンケート)

わかる授業づくり

(職員アンケート)

学校

教職員



# 他校の実践

- ★ 評価規準としての子ども像が、11月の学校評価アンケートの際に初めて示されていた。
- ◇ 評価規準としての子ども像を、年度当初に教職員や保護者と共有するようにした。
- ★ 学校経営の重点と学期末自己評価の項目が一致していなかった。
- ◇ 学校経営の重点＝自己評価項目であることを、年度当初に確認・明記した。

# 他校の実践

◇ 新しい教育目標に合わせて質問項目を見直したり、指導の重点に沿って質問項目を整理し直して表記したりした。

指導部会や各自の業務において、教職員の学校経営に対する理解・参画が進んだ。

《視点①による実践》

成果

- ◎各教育活動の方針、方針のねじれ（修正すべき点）等の明確化
- ◎次年度の教育計画策定に向けた教職員の意識の変容、業務改善への意識の向上

《視点②による実践》

## 学校評価のICT化の推進

◇ ICTを活用して

- どのように労力を軽減していくか
- どのように結果の比較・分析をするか

# 小松小学校の実践



## Webアンケートの実施

QRコードを読み取り、スマホ等で回答してください。小学校に在籍するすべてのお子さまの分について、12月6日（月）までご回答をお願いします。←



QRコードからの回答

アンケート用紙での回答をご希望される場合は、連絡帳等で担任までお知らせください。用紙をお渡しいたします。←

←

そう思わない

3 学校は子どもがわかるように授業を工夫していると思う\*

そう思う

どちらかと言えばそう思う

どちらかと言えばそう思わない

そう思わない

**保護者が  
「ラジオボタン」で選択  
最後に自由記述欄もあり**

4 学校は子ども同士が関わる活動を工夫していると思う\*

そう思う

どちらかと言えばそう思う

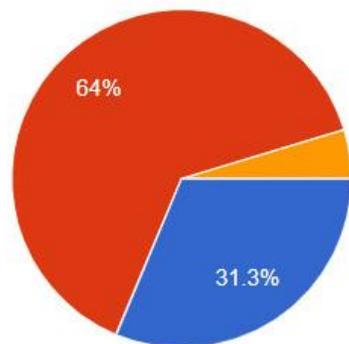
どちらかと言えばそう思わない

そう思わない

5 学校は子どもの健康や体力向上の取り組みを大切にしていると思う\*

### 3 学校は子どもがわかるように授業を工夫していると思う

214 件の回答

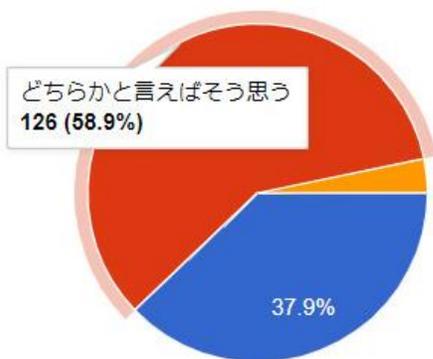


- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない

**結果はリアルタイムで確認可能**

### 4 学校は子ども同士が関わる活動を工夫していると思う

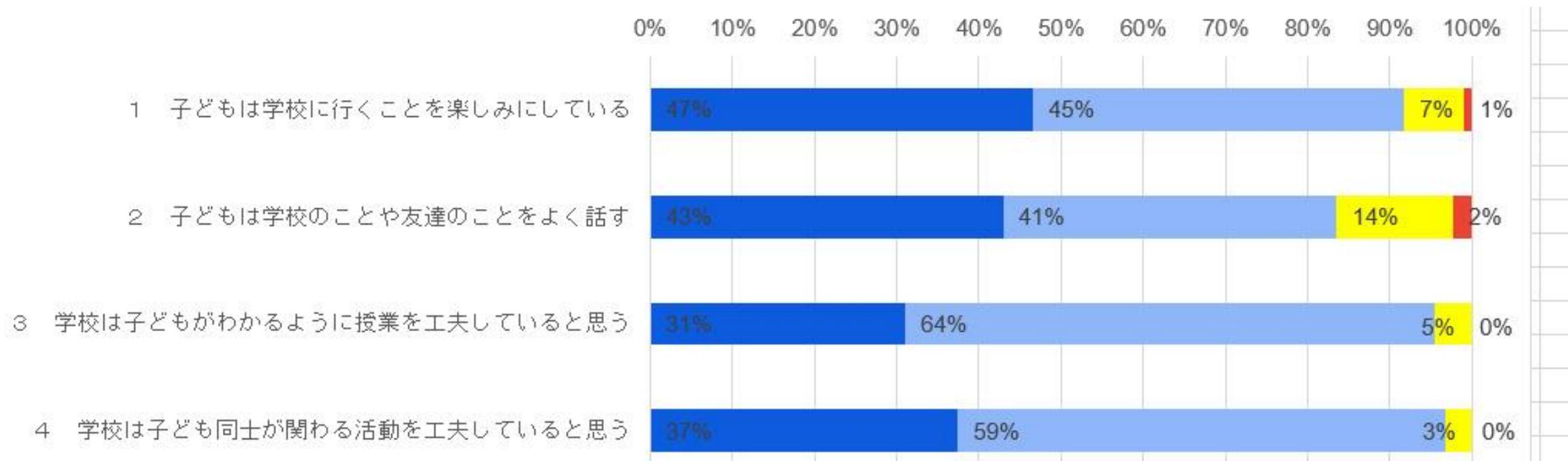
214 件の回答



- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない

A	B	C	D	E	F				
タイムスタンプ	お子さまのクラス	男女混合	1	子どもは	2	子どもは	3	学校は子	4
12/3/2021 22:04:36	5年1組			4		4		4	
12/4/2021 7:41:17	5年2組			4		4		3	
12/4/2021 9:08:09	2年2組			3		3		3	
12/4/2021 15:50:45	4年1組			4		4		3	
12/4/2021 18:12:03	5年2組			4		4		3	
12/4/2021 18:13:14	3年1組			3		4		3	
12/4/2021 18:19:47	4年1組			4		3		3	
12/4/2021 19:34:34	3年1組			4		3		4	
12/4/2021 20:21:31	3年1組			3		2		3	
12/4/2021 21:56:16	2年2組			4		4		4	
12/4/2021 22:33:12	5年2組			4		4		4	
12/4/2021 22:35:09	6年1組								
12/5/2021 7:18:45	2年2組								
12/5/2021 9:57:50	6年1組			4		4		4	
12/5/2021 9:59:10	1年1組			3		3		1	

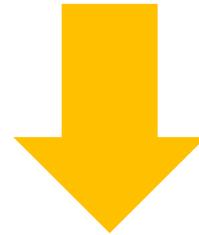
エクセルにエクスポート可能



**学年別など自由にグラフ化**

## 紙アンケートの実施

- 担当が用紙を配付・回収
- 一人分ずつデータ入力



## Webアンケートの実施

- 担当は用紙の配付のみ
- データ入力の必要なし

○ 紙によるアンケートの申し出はゼロ。回答率は92%。  
Webアンケート実施に大きな問題はなかった。

○ 一人1台タブレット環境をいかし、児童アンケートも  
2年生以上でWebアンケートを実施。

○ 保護者対象・児童対象のデータ入力時間がゼロ。  
実施後の分析や対応をスムーズに行えた。

# 他校の実践

- ◇アンケート用紙の印刷・配付も止めた。
  - ◇教職員による学期末評価アンケートもWebアンケートで行った。
- △初めての試みで保護者も慣れておらず、アンケートの回収率が低くなってしまった。

## 《視点②による実践》 成果

- ◎実施、集計にかかる労力の軽減
- ◎結果の分析処理の迅速化
- ◎課題解決に注力する時間の確保

## 《視点③による実践》

# コミュニティ・スクールを 機能させるための学校評価

### ◇地域とともにある学校として

- どのように学校と家庭、地域が期待する人間像を共有するか
- どのように学校運営協議会の参画促進を図るか

# 玉庭小学校の実践



# 学校運営協議会が学校評価をもとに 熟議し、学校経営に参画する事例

第1回 学校運営協議会（5月）

～ 経営方針の承認

第2回 学校運営協議会（12月）

～ 今年度の学校評価（自己評価、保護者・児童アンケート）の説明、課題に沿った熟議

第3回 学校運営協議会（2月）

～ 今年度の総括と次年度の方向性

テーマ

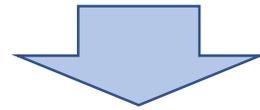
「より玉庭地域らしい教育を進めるために」  
「地域と連携した教育を進めるために」



## < 熟議例 1 >

ふるさと学習は、昔ながらの田植え、稲刈りなどの体験が主である。

しかし、農家は機械化による効率の良い農業を行っている。様々な農業の仕方を学ばせてはどうか。



## < 地域による体験学習内容の改善 >

昔からの農作業に加え、機械での田植え、稲刈り、乾燥作業も体験する。

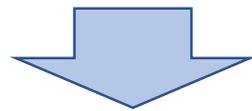


## < 熟議例 2 >

学習発表会では、地域をテーマに調べたことを上手に発表していた。少子化や高年齢化など地域の未来について子ども達は考えていたが、子どもだけでなく、大人の問題でもある。

子どものいない家庭が多くなり学校の様子が伝わりづらい。HPを見る機会も少ない。

様々な方法で発信していったらどうか。

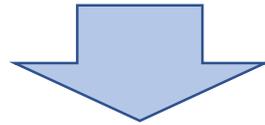


## < 地域による発信する場の提供 >

小学生の劇を参観する場として、地区の新春顔合わせ会などの場を提供する。

### < 熟議例 3 >

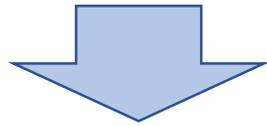
児童数減による学習環境についてどう考えていくのか。  
時間はかかるが検討が必要である。



### < 地域としての取組 >

学校運営協議会委員長である地区交流センター長が持ち帰り、地区としての取組に生かす。

# 熟議の材料の共有 + 熟議の場の設定 (学校評価結果) (学校運営協議会)



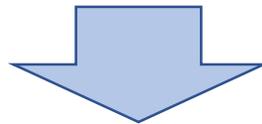
## 協働関係の構築

- 学校の課題と地域の  
課題の共有
- 地域と学校が  
win-winの関係



# 他校の実践

- ◇ 学校運営協議会～**評価結果の共有＋ワークショップ**
  - ・学力テスト・学習状況調査等の結果報告
  - ・委員による「吉島小を考えるワークショップ」
  - ・学校評価結果・分析報告
  - ・教職員、学校運営委員によるワークショップ



- ◎ 学校運営協議会の具体的な教育実践への参画推進  
「キラリ学び推進委員会」の設置

《視点③による実践》

成果

- ◎ 学校評価の分析と地域が求める子ども像の熟議  
⇒ 学校運営協議会委員の参画意識の向上
- ◎ 動ける学校運営協議会へのシステムの再編  
＋  
家庭・地域を巻き込んだ課題解決への実践化

## 今後の課題

- △同一の評価規準で子どもの姿を経年変化で捉える評価と、年度毎に変化する課題に合わせた学校評価について、どのように整理していくか。
- △「教育の質の向上につながる学校評価システムになっているかどうか」を評価する外部評価はどうあればよいか。
- △学校評価の結果を踏まえ、学校経営の方向性を判断し、具体的な手立てを講じ、実践していくための研修を深めたい。

提言 学校評価を通して  
教育活動の活性化を図る校長の役割

- ◇ 目標と教育活動と評価の一体化を図る  
学校評価にすること
- ◇ 教育活動に注力できるように学校評価  
事務のICT化を進めること
- ◇ 学校評価を通して家庭・地域の理解や  
参画を促進する仕掛けをすること



# おしょうしな

山形県東置賜郡  
川西町小学校長会